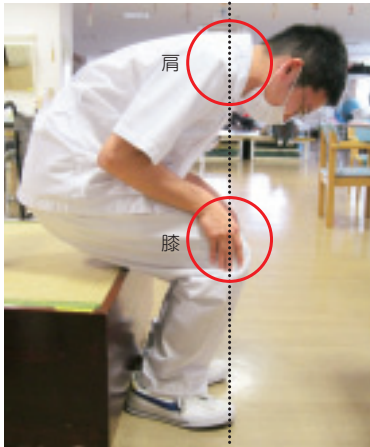


知っ得!

片マヒの方の「ベッドから車いす」への移乗介助

ツーポイントアドバイス



①ベッド上に座った状態で、車椅子に近い方の足を少し前に出しましょう。少し前に出すことにより、足が交差しにくくなります。前に出しすぎると立ち上がりにくくなるので注意が必要です。

②立ち上がる時、介助される人の身体を前上方へ誘導しましょう。肩が膝より前に出ると立ち上がりやすくなります。
(写真参照)

安全な姿勢へと導く そらまめクッション

〈事例紹介〉

①肩の下にこまめクッション

麻痺がある患者様に、寝たときの肩関節の亜脱臼を予防し、安定させることができます。



肩の下



診察のとき、「うまく自分の身体のことを説明できない」「聞きたいことが聞けずに帰ってしまった」といった経験をされたことはありませんか？
当院では、患者様の身体や健康に関することを一つにまとめた「マイカルテ」の普及に努めています。

ご存知ですか？ マイカルテ



効率的な医療福祉サービスのために
マイカルテには、身長、便通、睡眠などからだの記録
②医療の記録
病歴、健康食品やサプリメントの摂取など
③ご自身で手に入れた記録や情報
新聞の切り抜き、テレビ番組のメモ
④食生活や運動、緊急連絡先などの記録や情報

- ① 診察のとき、「うまく自分の身体のことを説明できない」「聞きたいことが聞けずに帰ってしまった」といった経験をされたことはありませんか？
- ② 当院では、患者様の身体や健康に関することを一つにまとめた「マイカルテ」の普及に努めています。

絡先などの記録や情報をファイリングします。このようにしておく、診察時に自分のことを正しく伝えることができます。また、いざというとき(救急や入院・入所時)にも役立ち、医療福祉サービスを安全に効率よく受けることができます。マイカルテを作ること、より質の高い診察や生活を送ってみませんか。マイカルテに関するお問い合わせは、外来で受け付けております。

マイカルテ作成のポイント



忙しいときでも何でも簡単に入れることができます。

A4サイズで40ポケット程度あるクリアポケットファイルがオススメです。

ルール1
入れるものには必ず日付を書いておく。

ルール2
なるべく前から順番に、時系列で入れていく。

訪問リハビリテーションの対象範囲と提供時間が拡大しました



訪問リハビリで飲み込みの状態を診ている言語聴覚士

2012年1月から、訪問リハビリテーションのサービス対象範囲が、百間川より東(可知や金岡から西大寺駅あたり)の地域にまで拡充されました。
さらに、1回の訪問を40分から60分へと変更するなど、基本時間の拡大をすすめています(介護保険のご利用枠と

の兼ね合いで、拡大が難しい場合もあります)。訪問については、毎月5〜10件程度の紹介がありました。が、ご自宅が百間川より東の方はお断りしている状況でした。
その一方で、「1回当たりの訪問リハビリの時間を増やして欲しい」といったご意見も少なくありませんでした。今回のサービス拡充は、このような声を反映した形となっています。
これからも、皆様の在宅生活のお役に立てるよう、サービス内容の改善を続けて参ります。

この件に関するお問い合わせは **リハビリテーション科 086-276-5318** (直通)